

Q1 献血をして病気になったり、うつることはないの？



A

心配ありません。献血をして病気になることはありません。

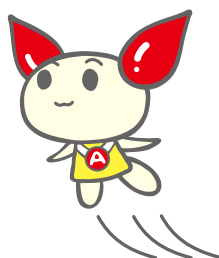
献血をするときに使われる針や血液バッグなどは、献血者一人ひとり新しいものに交換しています。

Q2 初めてなので、400mLも献血するのは不安…

献血の種類ごとの基準（年齢や体重など）を満たしていれば、安全です。

不安がある場合は200mL献血もできます。

A



Q3 献血をすると、自分の体のことが分かって本当？



A

ご希望の方には、貧血などの検査結果をお知らせしています。ぜひ健康管理に役立ててください。

なお、HIVの検査結果は通知されません。エイズ検査は保健所等で無料・匿名で受けられます。

Q4 献血できない場合もあるの？

A

血液には病原体が含まれていることがあります。
患者さんの安全を守るため、以下に当てはまる方は献血できません。

歯科治療

- ☐ **3日以内**に
出血を伴う
治療を受け
た人



薬を飲んでいるとだめなの？
病気や薬の種類によって、
献血できない場合があるので
相談してね。



海外渡航

- ☐ **4週間以内**に海外から帰国
(入国)した人
- ☐ 特定の時期に一定期間イギリ
スなどへの海外
渡航歴がある人



ピアス

- ☐ 唇や口の中、鼻など粘膜を貫通してピアスをしている人
- ☐ **1ヶ月以内**に医療機関で穴を開けた人
- ☐ **6ヶ月以内**に安全ピンや針を友達と共有して穴を開けた人

予防接種

- ☐ 接種後 **24時間**：インフルエンザ、子宮頸がん、A型肝炎など
- ☐ 接種後 **2週間**：B型肝炎



※上記の他にも献血できない場合
があります。詳しくは日本赤十
字社HPをご覧ください。

日本赤十字社 献血

検索

